

各位

上場会社名 株式会社 フュージョンパートナー  
 代表者 代表取締役社長 田村 健三  
 (コード番号 4845)  
 問合せ先責任者 取締役経営管理本部長 木下 朝太郎  
 (TEL 03-6418-3960)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年6月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年7月1日～平成21年12月31日)

|                                   | 売上高  | 営業利益 | 経常利益  | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|------|------|-------|--------|-------------|
|                                   | 百万円  | 百万円  | 百万円   | 百万円    | 円 銭         |
| 前回発表予想(A)                         | 630  | 64   | 64    | 70     | 510.29      |
| 今回発表予想(B)                         | 572  | 61   | 54    | 43     | 319.88      |
| 増減額(B-A)                          | △57  | △2   | △9    | △26    |             |
| 増減率(%)                            | △9.1 | △3.5 | △14.7 | △37.5  |             |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成21年6月期第2四半期) | 848  | 79   | 81    | 93     | 680.16      |

平成22年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

|                         | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|-------|-------|-------|-------|------------|
|                         | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 円 銭        |
| 前回発表予想(A)               | 1,280 | 130   | 130   | 140   | 1,020.59   |
| 今回発表予想(B)               | 1,100 | 110   | 105   | 110   | 808.71     |
| 増減額(B-A)                | △180  | △20   | △25   | △30   |            |
| 増減率(%)                  | △14.1 | △15.4 | △19.2 | △21.4 |            |
| (ご参考)前期実績<br>(平成21年6月期) | 1,501 | 123   | 108   | 245   | 1,788.56   |

## 修正の理由

当企業集団は、ASP事業、データベース事業およびプロモーション事業の3つの事業からなっております。当第2四半期の売上高につきましては、ASP事業およびデータベース事業は予想どおりの売上を計上できましたが、景気の悪化に伴う企業の広告宣伝費抑制の影響により、プロモーション事業の売上が、当初予想額200百万円に対し134百万円と減少いたしました。同事業については、下期においてさらに厳しくなることが予想されるため、通期の売上を1,280百万円から1,100百万円に修正するとともに、営業利益に関しても110百万円に修正いたします。

経常利益につきましては、当第2四半期において、当社が出資しております「公開支援2号投資事業有限責任組合(取得価額100百万円)」が、投資先株式会社について特別損失処理を実施したことから、前期末の評価額81百万円に対し、9百万円の営業外損失が発生し、その結果、当第2四半期経常利益を54百万円に、通期においても経常利益を105百万円に修正いたします。

純利益につきましては、当第2四半期において、プロモーション事業のコスト削減のための事務所移転費用13百万円、および未回収債権の貸倒引当金6百万円を特別損失として計上したことにより、当第2四半期純利益を43百万円に、通期においても当期純利益を110百万円に修正いたします。

なお下期について、プロモーション事業は不採算案件からの撤退と一層のコスト削減を実施し赤字に歯止めをかけております。また、利益率の高いASP事業およびデータベース事業は堅調に推移する見通しであります。

※H21.6期純利益245百万円には、税効果による繰延税金資産を108百万円計上しておりますが、H22.6期純利益110百万円には、税効果による繰延税金資産を考慮しておりません。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の数値は上記予想数値と異なる場合があります。

以上